



栃木県立宇都宮南高等学校



所在地 〒321-0123 宇都宮市東谷町660- 1
電話 028-653-2081
F A X 028-653-7050
U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/utsunomiyaminami/nc2/>
創立 昭和51年
課程 全日制課程
設置学科 普通科
生徒数 945名（男子418名 女子527名）
(令和3年5月1日現在)
利用交通機関 鉄道 JR雀宮駅から自転車10分（徒歩30分）
バス 関東バス「駒生～上三川」線「南高校前」下車



QRコード

I 学校の概要

宇都宮南高校は昭和51年4月に開校し、平成28年度に創立40周年記念式典が実施された。

緑豊かな田園地帯の中で、生徒は日々学習・部活動に励んでいる。グローバル×ローカルをキーワードに国際交流活動や地域連携活動・社会奉仕活動にも積極的に取り組み、活気あふれる高校生活を送っている。

1 学校教育目標

校 訓 篤学 ・ 進取 ・ 自律 ・ 敬愛

教育目標

- 生きる意欲にあふれた自らの生に積極的に挑む生徒を育てる。
- 自ら考え判断し場に応じた適切な行動を選択できる生徒を育てる。
- 自己や自己が属する集団の課題に主体的に取り組む生徒を育てる。
- 他者とのよりよい人間関係を自ら構築しようと努める生徒を育てる。

2 目指す学校像

- 志をはぐくみ、自立する力を高められる学校
- 豊かな人生を送るために必要な知識を有意義に学べる学校
- 伝統や文化を理解し、誠実な人間として成長できる学校
- 地域社会に貢献する、グローバルな人材が育つ学校

3 本年度の重点教育目標

- (1) 主体性の育成
 - ①自己有用感、自己管理能力を育む指導
 - ②学校の特色化に資する文武両道の奨励
 - ③進路指導の充実
- (2) 確かな学力の育成
 - ①授業の充実
 - ②家庭学習・放課後自主学習等の授業関連学習の工夫・改善
 - ③職員研修の充実
 - ④新学習評価法の構築
- (3) 組織マネジメントの推進
 - ①働き方改革の推進
 - ②危機管理の徹底

4 募集する生徒像

本校の校訓・教育目標・目指す学校像を理解し、本校を強く志望する生徒で次の（１）から（３）までのいずれかに該当する生徒

- （１）教科学習において明確な目的意識をもち、自己実現に向けて意欲的かつ継続的に努力できる生徒
- （２）運動部活動や文化部活動、生徒会活動などに積極的に取り組み、自己の向上を目指し粘り強く活動できる生徒
- （３）集団の中でリーダーシップを発揮できる生徒

5 本校の教育展望

生徒が国内外の他地域の文化に触れる機会や地域と連携した諸活動に参加する機会を増やすことで積極性や社会性を身につけさせるとともに広い視野を持ち地域社会に貢献できる人材（グローバル×ローカル人材）の育成を目指している。

II 学校、教育課程等の特色

教育課程

- ・ 1年生は共通で、2年生から文型と理型に分かれる。1・2年生では選抜クラスも設置している。3年生ではさらに国立大学・私立大学の受験対応も含めて計3コースに分かれる。選択科目を設け、生徒の多様な進路希望に対応し、その実現を目指している。

国際交流活動等

- ・ 留学生の受入れや海外の高校との連携・交流活動を積極的に行っている。各クラスでの交流に加え部活動などを通して留学生にとっても在校生にとっても有意義な活動となっている。
- ・ 本校にはインターアクトクラブ（南風倶楽部）が設置され、ロータリークラブと協力して国際交流活動や奉仕活動を行っている。
- ・ 本校はALT（外国語指導助手）の配置校である。コミュニケーション英語の授業の他、SHR時に校内放送を通して実施しているモーニングスピーチなど、生徒がALTに接して生きた英語を学ぶ機会も多い。

地域連携活動等

- ・ 本校は地元の行事への協力や地域の施設との連携事業の実施等を通して、地域社会に貢献し、将来地域のリーダーとなれる人材の育成を目指している。

課外授業

- ・ 平日放課後の課外授業や月1～2回土曜日の土曜講座（課外授業）を実施している。夏季休業中は7月後半の前期課外と8月後半の後期課外を実施し、冬季休業中は12月に課外を実施している。

III 進路状況

卒業者の進路状況（過去3年間の進学者・就職者の実数）

		令和3年度入試	令和2年度入試	令和元年度入試
進学	国公立大学	18	25	23
	私立大学	190	175	186
	短期大学	24	10	20
	各種専修学校	56	76	63
就職	就職	10	11	8
その他		13	11	10

本校の進学者の多くは四年制大学に進学している。国公立大学では地元の宇都宮大学の他、北海道大学、筑波大学、新潟大学、埼玉大学、茨城大学、群馬大学、信州大学、福島大学、弘前大学、岩手大学、秋田大学、東京都立大学、岐阜薬科大学、福島県立医科大学や高崎経済大学等、全国各地の大学に進学している。私立大学も白鷗大学、自治医科大学、獨協医科大学、国際医療福祉大学など県内の大学の他、明治大学、法政大学、東洋大学、日本大学、駒沢大学、東京電機大学、千葉工業大学など関東圏の大学に多数が進学している。短期大学はほとんどが幼児教育または栄養系に進学し、専門学校では進学者の大半を看護医療系の学校が占めている。

就職については、少数ではあるが公務員や県内の企業へ就職している。

IV 特別活動等の紹介（学校行事、生徒会活動、部活動等）

○主な学校行事

- 5月 生徒総会
- 6月 創立記念球技大会・芸術鑑賞会・進路講演会（3年生）
- 7月 夏季前期課外・キャンパス見学（2年生）
- 8月 夏季後期課外・一日体験学習（中学生・関係者対象）
- 9月 学校祭
- 10月 進路学習講座（1年生）・修学旅行（2年生）
- 11月 マラソン大会
- 12月 冬季課外
- 3月 卒業生と語る会

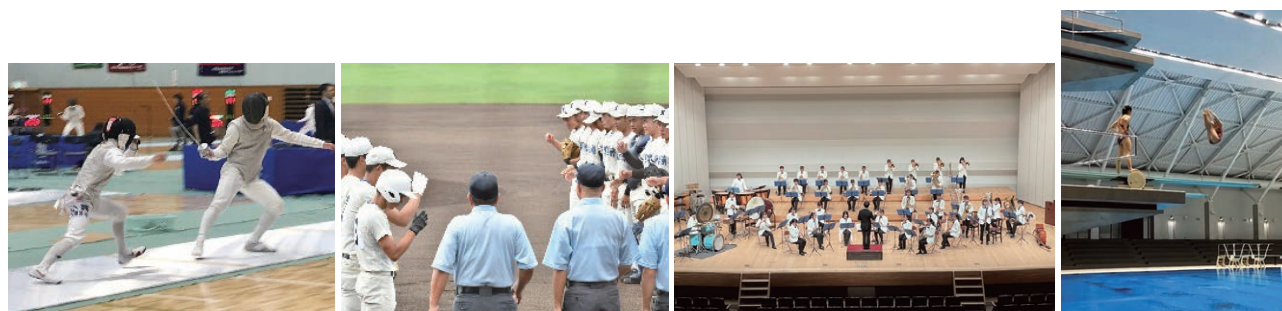


○部活動等一覧

運動部		文化部	
野球	バレーボール（女子）	生徒会アシスタント	演劇
バドミントン	バスケットボール	インターアクトクラブ	放送
水泳	サッカー（男子）	音楽（吹奏楽・合唱）	科学
弓道	テニス	茶華道	調理
陸上競技	ソフトテニス	書道	ボランティア（同好会）
柔道	ダンス	美術工芸	軽音楽（同好会）
剣道	卓球（同好会）	写真	百人一首（同好会）
フェンシング		クリエイティブアート	

生徒の部活動加入率は80%を超えており、運動部・文化部ともに盛んに活動している。

甲子園に7回出場し春の選抜準優勝などの実績を持つ野球部、関東大会31年連続出場の実績を持つバドミントン部、その他に水泳部（飛び込み・競泳）、弓道部、陸上競技部、フェンシング部、柔道部、書道部、音楽部（吹奏楽・合唱）などが全国大会で活躍している。



V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科 30%程度

2 出願するための資格要件

本校での学習に適應できる十分な学力と基本的な生活習慣がしっかりと身に付いており、次の(1)(2)のいずれかまたは両方に該当する者

- (1) 部活動や生徒会活動または校外での活動などにおいて自信をもって誇れる活動内容を有し、本校入学後も当該部活動あるいは活動に継続的に取り組み、活躍が大いに期待される者
- (2) 教科学習において上位レベルの成績を有し、かつ国語・数学・英語のいずれかの科目で特に優秀な成績を修めた者で、大学進学という明確な進路目標をもち、本校入学後進路実現に向かって意欲的に学習に取り組める者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
小 論 文	時間50分 字数500～600字

4 その他、特記事項

- ・ 令和3年度重点強化拠点校〈競技:水泳(飛込(男子・女子))、バドミントン(男子)、フェンシング(男子)〉
- ・ 令和3年度強化推進拠点校〈競技:陸上競技(男子)、バドミントン(女子)、フェンシング(女子)〉

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」(第1学年～第3学年)の評定(選択教科を除く)を合計する。
- 3 調査書の点数化されない部分については、段階評価を行う。
- 4 面接及び小論文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に審議し、総合的に選抜する。

第1次審議

全ての受検者のうち、募集定員の範囲内で【資料の取扱い】の2、3及び4のそれぞれの評価が、優秀または良好と認められた者を対象とし、合格内定者を選抜する。

第2次審議

第1次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者を対象とし、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。